

令和6年度 上京中学校の教育

【1】校訓

「人・もの・ときを大切に」

【2】学校教育目標

自立・貢献・夢づくり

～ 豊かな心とたくましく生きる力を備え、
夢や希望をもって、未来社会の創り手となる生徒の育成 ～

○自立：自ら問いをもち、自分の意志や判断で粘り強く行動する。

⇒「主体性」を育み、「自ら学ぶ力」を高める。

○貢献：よりよい人間関係を形成し、様々な人と協働しながら、これからの取組や人のために、自分の持っている力を發揮する。

⇒「社会性」を育み、「自ら律する力」を高める。

○夢づくり：自己の生き方につながる選択力を身につけ、自分の夢・生き方を創出する。

⇒多様な価値観に触れながら、「自己指導能力」を身につけ、自分らしく生きる。

【3】スローガン 「協働・創出」

“共通の目的を達成するために、お互いの違いを認めつつ尊重しあい、課題解決に向けて心を合わせて協力・協調し、物事を新しく創り出そうとすること”

【4】育成をめざす資質・能力と心

・情報収集・活用能力 【知識及び技能】

・協働して課題解決する力 【思考力、判断力、表現力】

・創意工夫して発信する力 (書く・話す・描く・制作する・行動する)

【思考力、判断力、表現力】【学びに向かう力、人間性等】

・折れない心 (チャレンジ精神)

・自他理解と自尊心 (自己肯定感・自己有用感)

【5】めざす生徒像

1. 自己を見つめ、自らの課題に向き合う生徒
2. 目標を定め、主体的に学び・意欲的に行動・表現する生徒
3. 何事にも一生懸命に取り組み、粘り強くやり抜く生徒
4. 自らを律し、正しく判断・行動できる生徒
5. 多様な価値観を認め、互いに尊重し合い、共に助け合う生徒
6. 集団の中で、学び合い、磨き合い、高め合う生徒

【6】学校づくりの5つの柱

「いのち」「よりそい」「つとめ」「ひろがり」「つながり」

(1) めざす学校像

1. 明るく楽しく安心して通える学校
2. 一人一人の良さが發揮され、互いに成長し合える学校
3. 信頼され、誇りをもてる学校（通いたい・応援したい・働きたい）

(2) めざす教職員像 「教育は人なり」・・・教職員の言動そのものが教育である

1. 生徒理解に努め、一人一人によりそい大切にする教職員
2. 自らの仕事に誇りをもち、自ら学び続ける教職員
3. 「社会に開かれた教育課程」の実現に向けてカリキュラム・マネジメントの視点を持ち、家庭・地域の教育力を生かし「社会貢献」「自分らしい生き方」の探求につながる取組を実践できる教職員

(3) 学校経営方針

①一致団結協働し、信頼され、自信と誇りをもてる学校づくり

（目指すは学校教育目標、育成すべき資質・能力、めざす像の実現）

→「総合的な学習の時間」を軸にしたカリキュラム・マネジメント

「KYOTO×教育DXビジョン」の実現（令和5～7年度）

②自己指導能力の獲得を目指し、獲得を支える教育実践（授業に内在化した生徒指導）

4つの視点を意識する。

（自己存在感、共感的な人間関係、自己決定の場、安全・安心な風土）

③対応や取組の合言葉は『さしすせそ』

- ・最初が肝心 … 第一印象、初期対応の大切さ。「おもてなしの心」も忘れずに。
まずは「計画・準備」と「(進んで) あいさつ・時間(守る)・掃除(環境美化)」の実践から。
- ・しっかりと傾聴 … 信頼の第一歩。相手の話を最後まで聞く。「心の声」に耳を傾ける。
- ・素早く行動 … 何事にも「迅速・丁寧・徹底」を心掛け。
- ・正確な記録 … トラブルの回避。共通理解は「報告・連絡・相談・記録」から。
- ・組織で対応 … 協働態勢と叡智の結集。安心・協力と学びの場。「学び合い・高め合い・相談し合い」が組織を成長させ、風通しのよい職場へと。

【7】今年度の重点項目

○「生きる力」を育む15の取組

～自ら学び、可能性を發揮し、より良い社会の創り手となる力の育成に向けて～

➡ 知（確かな学力）・徳（豊かな心）・体（健やかな体）を一体的に育むための取組



○「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を図り、主体的・対話的で深い学びを重視した授業を通して、学びの質を高めるとともに、「自ら学ぶ力」を育成するための工夫を図る。(授業改善、KYOTO×教育DXビジョン、学びに向かう主体性の育成、自己調整力の育成)

○日々の授業と家庭学習との連動を通して、自学自習の習慣化を図る。

(「自ら学ぶ力」の育成)

○自他を大切にする態度と内面への働きかけを通して、多様性を理解する姿勢を培うと共に、「公共の精神」としなやかで豊かな心を育成する。

(道徳教育、人権教育の充実、自己肯定感と「自ら律する力」の育成)

○総合的な学習の時間、様々な体験活動、探求的な活動を通して、「自分らしい生き方」を模索し、社会で自立するために必要な能力や意欲、態度を育成する。

(カリキュラム・マネジメントの視点をもったキャリア教育の推進、社会性の育成)

○校種間連携・接続や地域と連携した取組を推進する。(保幼小中連携、地域貢献)